

世界の名作を現代の演出でお届けする SPAC秋→春のシーズン2023-2024 3つの新作で、10月2日より開幕！

『伊豆の踊子』『お艶の恋』『ばらの騎士』

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、毎年10月から3月にかけて「秋→春のシーズン」と題し、古今東西の名作を芸術総監督・宮城聡と注目の演出家たちによる現代演出で連続上演しています。

今シーズンは3つの新作。文豪たちがおよそ100年前に書いた小説／オペラの傑作が、色鮮やかに舞台上に登場します。静岡ゆかりの青春文学『伊豆の踊子』は、多田淳之介の演出により舞台化。静岡芸術劇場のほか県内各地で上演されます。また、昨年『弱法師(よろぼし)』で好評を得た石神夏希は、文豪・谷崎潤一郎の初期の作品に挑みます。そして、SPACがその蓄積を総動員し、音楽家の根本卓也とともにお届けする新作喜劇『ばらの騎士』にもどうぞご期待ください。

* SPAC秋→春のシーズン2023-2024は、東アジア文化都市静岡県のプログラムです。



SPAC秋→春のシーズン2023-2024

#1 『伊豆の踊子』 [新作]

東アジア文化都市2023静岡県／静岡県「伊豆文学祭」記念事業

台本・演出：多田淳之介 / 作：川端康成 / 映像監修：本広克行

孤独から逃れるためひとりで旅する青年。その道中で出会った踊子の少女に惹かれ、歪んでいた心がほぐされていくが、別れの時は近づき……。川端康成の伊豆旅行体験を元にした小説を多田淳之介が舞台化。作中に登場する風光明媚な伊豆地方を本広克行監修の撮り下ろし映像にして舞台に織りこみ、新感覚の「観光演劇」としてお届けします。

静岡公演 10月7日[土]、29日[日]、11月11日[土]、12日[日]、18日[土]、19日[日]
(全6回) 各日 14:00 開演 静岡芸術劇場

下田公演 12月15日[金] 18:30 開演 下田市民文化会館

修善寺公演 12月23日[土] 13:30 開演 修善寺総合会館

浜北公演 2024年2月10日[土] 13:30 開演 浜松市浜北文化センター

沼津公演 2024年2月25日[日] 13:30 開演 沼津市民文化センター

※中高生鑑賞事業公演

SPACeSHIP(スペースシップ)げきとも！
シーズンプログラムでは平日に県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。『伊豆の踊子』は10月2日げきとも公演から開幕いたします。
各地での実施日程は公式サイトにて。



◆2018年 多田淳之介演出・SPAC作品『歯車』より
写真 ©青木司

#2 『お艶の恋』 [新作]

演出：石神夏希 / 原作：谷崎潤一郎『お艶殺し』

裕福な質屋の一人娘・お艶と、奉公人・新助の駆け落ちの顛末を描いた、文豪・谷崎潤一郎の初期小説『お艶殺し』。情熱のままに突き進み、転落し、それでも恋することを止めない若者たちの生命力あふれる姿を、新鋭・石神夏希が現代に通じる物語として描き出します。

12月2日[土]、9日[土]、10日[日](全3回) 各日14:00開演 静岡芸術劇場



◆2023年9月 石神夏希演出『お艶殺し』
写真提供：利賀文化会議

#3 『ばらの騎士』 [新作]

演出：宮城聡・寺内亜矢子 / 作：フーゴー・フォン・ホーフマンスタール

音楽：根本卓也

リヒャルト・シュトラウス作曲のオペラとして知られるホーフマンスタールの傑作台本を、宮城聡と寺内亜矢子の共同演出と根本卓也の音楽で、明治時代の日本を舞台にした軽快な喜劇に仕立てます。鹿鳴館を彷彿とさせる華やかな洋装が観客の目を楽しませ、恋や駆け引き、心の機微を俳優たちの生演奏が彩ります。

2024年1月7日[日]、8日[月・祝]、13日[土]、14日[日]、20日[土]、21日[日]、
3月10日[日](全7回) 各日14:00開演 静岡芸術劇場



◆2022年宮城聡演出・SPAC作品『パール・ギェント』より
写真 ©猪熊康夫

◎演出家プロフィール

多田淳之介 (ただ・じゅんのすけ)



1976年生まれ。演出家。東京デスロック主宰。古典から現代戯曲、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。創作活動と並行して、公共劇場の芸術監督や自治体のアートディレクター、フェスティバルディレクターを歴任。2013年日韓合作『ガゴメカルメギ』にて韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人演出家として初受賞。東京芸術祭共同ディレクター。四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。SPACでは2018年に『歯車』(SPAC秋→春のシーズン2018-2019)を演出。

Photo by 平岩孝

石神夏希 (いしがみ・なつき)



劇作家。1999年よりペピン結構設計を中心に活動。国内外で都市やコミュニティのオルタナティブなふるまいを上演する演劇やアートプロジェクトを手がける。近年の主な仕事に「東アジア文化都市2019豊島」舞台芸術部門事業ディレクターおよび『Oeshiki Project ツアーパフォーマンス《BEAT》』作演出、2019台北芸術祭ADAM Artist Labゲストキュレーター、静岡市まちは劇場『きょうの演劇』企画ディレクター(2021年度)他。SPACでは2022年に『弱法師(よろぼし)』を演出。

Photo by 黒羽政士

宮城聡 (みやぎ・さとし)



演出家。2007年SPAC芸術総監督に就任。自作の上演とともに世界各地から現代社会を鋭く切り取る作品を紹介、また県内各地でのアウトリーチ活動にも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営を行う。代表作に『王女メディア』『マハーバーラタ』『アンティゴネ』など。K-mix(静岡FM放送)レギュラー番組「宮城聡の頭のなか」出演中。

Photo by 加藤孝

寺内亜矢子 (てらうち・あやこ)



1997年、ク・ナウカシアターカンパニーにて演劇活動開始。2007年の劇団休止後は、SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優のみならず、演奏構成・演出・通訳も手がける国際派マルチプレイヤー。SPACでの演出作に『おおと ええと ええじゃないか』(ふじのくに野外芸術フェスタ2020 in 掛川)、『忠臣蔵2021』(共同演出)、『三原色』(SPAC演劇アカデミー第1期生成果発表会、2022)、『リチャード二世』(秋→春のシーズン 2022-2023)、『葵上』(SPAC演劇アカデミー第2期生成果発表会、2023)などがある。

Photo by 加藤孝

公演チケット

- 発売日: #1『伊豆の踊子』 <静岡公演> ◆一般 前売り開始: 9月3日(日)10:00
<下田公演・修善寺公演> ◆一般 前売り開始: 10月14日(土)10:00
<浜北公演・沼津公演> ◆一般 前売り開始: 12月10日(日)10:00
#2『お艶の恋』/ #3『ばらの騎士』共通 ◆一般 前売り開始: 10月14日(土)10:00

●料金(税込/全席指定)

一般: 4,200円

U25・学生割引: [25歳以下および大学生・専門学校生] 2,000円 / [高校生以下] 1,000円

障がい者割引: 2,900円(障害者手帳をお持ちの方)

●チケットお取り扱い 『伊豆の踊子』県内ツアー公演は他プレイガイドでの取り扱いを予定。

SPACチケットセンター TEL: 054-202-3399 (10:00~18:00, 休業日を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

グランシップチケットセンター※ TEL: 054-289-9000

窓口販売 グランシップチケットセンター(グランシップ正面玄関に入って左手)

ウェブ予約 <https://www.granship.or.jp/visitors/ticket/> (24時間受付)

※ 取り扱い券種: 一般4,200円、高校生以下1,000円(土日の静岡公演)のみ (電話・窓口 受付時間 10:00~18:30 ※グランシップ休館日を除く)

※ 『お艶の恋』『ばらの騎士』のグランシップでのお取り扱い開始日は調整中。

主催・製作: SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

[[『伊豆の踊子』静岡公演・下田公演に対し] 共催: 東アジア文化都市 2023 静岡県実行委員会 助成: 一般財団法人地域創造

[[『お艶の恋』静岡一般公演に対し] 令和5年度日本博 2.0 事業(委託型) 主催: 公益財団法人利賀文化会議、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

共催: 公益財団法人静岡県舞台芸術センター



お問い合わせや取材のご希望は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本/計見」までご連絡下さい。

TEL: 054-208-4008 (静岡県舞台芸術公園) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: koho@spac.or.jp